

平成15年度授業料免除実施状況

担当者名			
連絡先	TEL ( ) ( ) ( )	(内線: )	
	FAX ( ) ( ) ( )		

	(A)	
	1	
学校コード	.....	学校名

学生区分	(B)	
	5	

{日本人学生:「0」、私費外国人留学生:「1」}

前・後期区分	(C)	
	6	

{前期:「1」、後期:「2」}

票種	(D)	
	7	
	0	1

免除区分	授業料免除率 (%)		授業料収入予定額 (円)	
	(E)	(1)	(2)	(2)
	9	10	15	
学部等	1	0:0:5:3:0		
短期大学	2	0:0:5:3:0		
高等専門学校	3	0:0:5:3:0		
専修学校	4	0:0:5:3:0		



((別紙2)票1、票2 記入要領)

授 免 C、D

- 1 本票の作成に当たっては、様式をコピーして作成のうえ提出すること。(A4横長)
- 2 「学生区分」欄は、次のコードを記入すること。  
日本人学生：「0」、私費外国人留学生：「1」
- 3 「前・後期区分」欄は、次のコードを記入すること。  
前期：「1」、後期：「2」
- 4 数字は各欄ともカンマ「,」は記入せず、右詰とする。また、該当のない欄は空白にすること。ただし、フロッピーディスクへ入力する際は、該当する学種の欄中に空白は作らず、0(ゼロ)を入力して必ずその学種の行を数字で連続させること。
- 5 該当のない学種については、「学種」欄を一線で消すこと。

例：

大	学	院	博	士	0	2	0	2											
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- 6 【票種01】について
  - (1) 「免除区分」欄は、本通知の記の1の表の免除の対象1、2、3、4の区分により記入すること。
  - (2) 「授業料収入予定額」欄は、前期分は平成15年5月1日現在、後期分は平成15年11月1日現在の学生数(休学中の者及び研究生、聴講生等を除く。)に授業料半期分の金額を乗じて得た額を記入すること。
- 7 【票種02】について
  - (1) 「希望人数」欄は、各学校に対し、授業料の免除申請をした人数を記入すること。
  - (2) 「実施人数」及び「実施額」欄は、当該期免除実施可能額の範囲内で処理した人数及び金額を全額と半額に区分して記入すること。
  - (3) 「家計評価額の最高額」欄には、当該期免除実施可能額の範囲内で処理したもの(学内処理したもの)のうち、家計評価額の最も高いもの(マイナスの小さい、あるいはプラスの大きいもの)を記入すること。  
なお、家計評価額は、(別紙1・参考)の記入要領8によることとし、その額が0より大きい場合は「+」、0又は0より小さい場合は「-」を「符号」欄に記入し、「+」の場合には、その理由を「免除理由」欄に次のコードにより記入すること。  
「+」の場合の理由  
長期療養者がいる世帯：「1」、身体障害者がいる世帯：「2」  
長期療養者及び身体障害者がいる世帯：「3」、その他：「4」
- 8 本票は、超過免除申請がない場合でも、必ず提出すること。  
なお、(別添)「平成15年度学種調書」を添付すること。